

エムエスピーの履歴書

水谷政司 ⑪

コムデックスと言えばラスベガスです。ラスベガスはコムデックスとつながるくらい、パソコンを古くから愛用している方ならご存じの地名であり展示会名称であることを思い出される方が多いと思います。コムデックスは、Computer Dealer's Exhibition の略でパソコンの販売店向けの世界最大級の展示会でした。ラスベガスは行かれた方も多いかと思いますが、東京から距離にして9000キロ、時差は16時間あります。ピンとこない人もいると思いますが、

歴史アーカイブス

北海道の札幌から沖縄の那覇までが約2300キロです。その約4倍も離れたところに行くことになるので、12時間以上飛行機に閉じ込められること

日本も広いが世界はもっと広い

独立して自分磨きのためにパソコンの聖地を巡るとになります。

みると見るもの聞くもの全てが目新しく、基調講演に参加すると講演は特定製品の宣伝に使われるのでは無く、多くの場合はコンピュータ業界の動向・歴史・未来などが論じられていました。参加することが名誉な展示会でもありましたし大変有意義なものでしたので、定

私には、パソコンの販売企業に勤めていたのですから当然この展示会は知っていました。会社の政策もありこの展示会を見学したのは退職の1年くらい前の事でした。それも、パソコンメーカーの招待でした。参加して

期的に見学をすることが時代を読み取る目を養う重要な要素であると感じていました。退職してからは縁あってビジネスコンピュートニユース社の特派員としてプレスのバッジをつけて展示会の見学と同時にプレスセンターに出入り

し、新製品のプレスリリースを集めました。そのためコムデックス帰りは山ほどのカタログやリリース媒体紙を抱え帰途についたものでした。この時代はインターネットも



ありませんでした。会場から報告は出来ず、また、宅配便も無い時代でしたから手持ち帰りが当たり前前の時代でした。

コムデックスではエムエスピーの黎明期を支え

た『ペンタイプマウス』『PCソフトレンズ』『CD-ROM』『マウスパッド』などの製品を買付し、その製品を独占的に国内販売しておりました。展示会の前後には、サンフランシスコやロサンゼルスへ寄り、現地のパソコンショップを廻り日本での展示方法など参考にしていました。ペンマウスはペン型マウスで、カシオのワープロにOEMで採用されました。ソフトレンズはPC画面に貼り付けることによりじみや映り込み防止になり、マウスパッドは当時大リーグ入りした直後の野茂選手をデザインするなど、当時の時代の先端に立つものを扱っておりました。次号に続く。

(エムエスピー相談役)